



巻 頭 言

公立大学法人 名桜大学

総合研究所所長 田 邊 勝 義

今年度の名桜大学総合研究所『総合研究』を発刊いたします。この『総合研究』は、学術論文である名桜大学総合研究所紀要と平成27年度総合研究所の年次報告が一体化した名桜大学総合研究所の総合機関誌となっております。

本年度は、平成27年度に投稿された原著論文5件、研究ノート4件、調査報告書7件の合計16件からなる論文を掲載しております。また、年次報告では、平成27年度に実施した業務内容や研究支援に関する実績について報告しております。

この2年に渡る研究費支援が功を奏したと言っても過言では無く、昨年度と比較して論文数が大幅に増加したことを大変嬉しく思っております。今後も総合研究所から研究者の支援を実施して行きたいと考え、来年度の予算も編成いたしました。さらに皆様の研究が推進されることを願っております。

総合研究所では、研究推進施策として、新任2年目の研究者支援のため、研究資金を助成する仕組みをスタートさせました。来年度からは、新任1年目の研究者が研究環境を整えるための支援も開始する予定となっております。これらの研究支援の仕組みを通じて、研究環境の充実と研究成果を創出しやすい支援体制を構築しております。

現在、科学研究費の申請率は55%とこれまで少しずつ増加してきておりますが、まだまだ今後の伸びが必要です。これらの研究支援の継続が申請率と獲得率の増加に結びつくことを願ってやみません。

また、総合研究所では、『コンプライアンス教育研修会』と題して研究費不正防止に関する研修会と『研究倫理教育研修会』と題して研究倫理・研究データ管理に関する研修会を実施いたしました。また規程を整備いたしました。今後、研究者自ら公正・公明な態度で研究を推進していくことが益々重要となります。

総合研究所が更に発展していくためには皆様のご協力とご支援が必要となります。この度発刊いたします『総合研究』をご一読頂き、忌憚のないご意見を賜りますと幸いです。